

講演会のお知らせ

講演題目：

電子ジャーナルの先に見える新しい研究パラダイムの可能性：オープンサイエンスがもたらす研究と研究評価の変革

講師： 林 和弘 氏

(文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)
科学技術予測センター 上席研究官)

日時： 12月15日(金)
16時00分より

場所： 南1号館 3階304号室

講演概要: Webを情報流通基盤とした学術情報流通の変革は、いわゆる学術雑誌の電子化から始まったといえるが、近年になって、雑誌や論文の流通だけに止まらない、研究データなどの、より多様な研究成果が流通する世界を念頭においた学術情報流通の変革が議論され、研究活動そのものや社会との関わりを変革する兆しを見せ始めた。その変革を駆動するキーワードが「オープン」と「ICT活用」であり、学術論文を中心としたオープンアクセスに始まり、最近ではオープンサイエンスのキーワードで、学会や出版者と図書館の関係を越えた多様な議論と実践が繰り返されている。本講演では、電子ジャーナルの先に見える研究パラダイムの可能性について、その背景と現状ならびに研究者や大学に与える影響について紹介する。

問い合わせは草間まで